

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	市民協働課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	101200
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市国際交流協会				補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	関市国際交流協会補助金交付要綱					<input checked="" type="checkbox"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
	関市国際交流協会					<input checked="" type="checkbox"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						<input checked="" type="checkbox"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						<input type="checkbox"/>	(5)個人に対する補助金・負担金
						<input type="checkbox"/>	(6)その他
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対 象	市民、在住・在留外国人					に対して
	手 段	様々な支援事業及び交流事業の実施					を行うことで
	受益者	市民、在住・在留外国人					が(を)
	意 図	お互いの文化を尊重し合い、共生できる					という状態にする
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成 6 年度			
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()	
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	1口 あたり 2,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率			
	650	1,950	1,300	2,000	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/>	定額補助	<input type="checkbox"/>	その他 ()
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	3,482千円		R5歳出決算額	2,651千円		翌年度繰越額	831千円
	R5歳入に占める補助金の割合			37.3 %		決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適切か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適当	
③有効性	補助の目的は達成できているか	ほぼ達成している	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	在住外国人への影響は大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2 補助内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	コロナの期間、交流活動を中止していたため、外国人との関わりが薄れてしまった。日本人と外国人が直接交流ができる場を設けられるよう努める。					

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	市民協働課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	103320
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市地域おこし協力隊起業支援補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
②支出の根拠	関市地域おこし協力隊起業支援補助金交付要綱			(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
③支出先	関市地域おこし協力隊員(現役、OB・OG)			○(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	なし	○国の負担あり	負担割合	負担額	(特交)全額 千円	
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	任期满后日1年前から1年後までの関市地域おこし協力隊員(OB・OGを含む。)			に対して	
	手段	備品購入、法人登記、資格取得など起業に係る経費の援助			を行うことで	
	受益者	協力隊員の活動地域			が(を)	
	意図	起業による地域経済の活性化、雇用の増加、隊員の定住化			という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	令和 2 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○ その他 (非該当)		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	0	2,000	1,000	1,000	単価を定めている→算式	
					定額補助	○ その他 (補助率100%、100万円限度)
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		%	○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当である
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	ない
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している(実績報告有)
	支出額・補助率は適正か	適正である
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助を休止・廃止した場合の影響は	協力隊任期满后後の定住に影響

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	起業志向の協力隊員に対し、起業にかかるアドバイス等のサポートが適切に行えるか。起業の成功率を高めるためには、ビジネス関連の専門家の指導などの協力が必要。また、事業実績を、完了時だけでなく中間確認していくことが必要であると考え。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	市民協働課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	103320
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市地域おこし協力隊定住促進補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠	関市地域おこし協力隊定住促進補助金交付要綱				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
	③支出先	関市地域おこし協力隊OB・OG				(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	1/2	負担額	1,579千円	
⑤支出の目的	対象	任期满后の翌日から2年以内の協力隊OB・OG				に対して	
	手段	住居の購入や改築、車の購入など、活動地域における定住にかかる資金の援助				を行うことで	
	受益者	協力隊員の活動地域				が(を)	
	意図	協力隊員の定住による地域人口の増加、地域の活性化				という状態にする	
⑥期間	R5年4月1日～R6年3月31日		補助開始年度	令和2年度			
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他(非該当)				
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	4,000	4,994	5,039	520	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		%	<input checked="" type="checkbox"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当である
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	ない
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している(実績報告有)
	支出額・補助率は適正か	適正である
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助を休止・廃止した場合の影響は	協力隊任期满后の定住に影響

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	2年で総額400万円の補助金は、一見、金額が多いようにみえるが、定住に必要な住宅(空家等)の購入、改修の費用を考えると、この金額では難しい。事業実績を、完了時だけでなく中間確認していくことが必要であると考え。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	市民協働課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	103380
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市自治会連合会				補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	関市自治会連合会補助金交付要綱					<input type="checkbox"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						<input checked="" type="checkbox"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	関市自治会連合会					<input checked="" type="checkbox"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						<input type="checkbox"/>	(5)個人に対する補助金・負担金
	○なし					<input type="checkbox"/>	(6)その他
<input type="checkbox"/>							
④国・県の負担	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
	<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	自治会連合会				に対して	
	手段	コミュニティ活動に対する支援				を行うことで	
	受益者	自治会連合会				が(を)	
	意図	自治会活動について連絡協議し、市民生活の向上と市政発展に寄与する				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日	~	R 6 年 3 月 31 日	補助開始年度	昭和 25 年度		
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()	
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	3,452	3,317	4,220	4,800	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	<input type="radio"/>					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	4,949千円	R5歳出決算額	4,248千円	翌年度繰越額	701千円
	R5歳入に占める補助金の割合	85.3%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適切か	適切
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助率は適正か	適正
③有効性	補助の目的は達成できているか	ほぼ達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	現状維持
	補助を休止・廃止した場合の影響は	連合会活動への影響は大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2補助内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4統合を検討	<input type="checkbox"/>	5終期を設定	<input type="checkbox"/>	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	令和5年度においてはコロナ禍の影響も考慮しつつ、各種行事を開催することができた。今後も、行事の必要性や開催方法について検討しながら再開していきたい。					

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	市民協働課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	103380
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	自治会コミュニティ活動奨励金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
						(6)その他
②支出の根拠	関市自治会コミュニティ活動奨励金交付規則					
③支出先	各自治会					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	自治会			に対して	
	手段	コミュニティ活動の包括的な支援			を行うことで	
	受益者	自治会			が(を)	
	意図	活動が活発になり、人と人とのつながりができ安心して暮らせる			という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成 11 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○ 主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		○ 負担あり	負担額	1自治会あたり 交付上限を超えた額 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	65,790	66,007	66,491	68,677	○ 単価を定めている→算式	2,750円×世帯数 +5,000×自治会数
				定額補助	その他 ()	
②過去における見直し状況	平成25年度から均等割5,000円、世帯割2,750円に変更					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		%	○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適切か	適切	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適切	
③有効性	補助の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	現状維持	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	自治会活動が停滞する	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	令和2年度からの新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、総会や役員会、清掃活動などのコミュニティ活動の自粛をされる自治会が多かったが、自治会活動もコロナ前の行事の開催に戻ってきている。今後さらにコミュニティ活動が活発になるよう期待している。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	市民協働課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	103480
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	市民活動助成金		補助金の分類	<input type="checkbox"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
				<input checked="" type="checkbox"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
②支出の根拠	関市ときめき・きらめき・いきいき市民活動助成金交付規則			<input checked="" type="checkbox"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
				<input checked="" type="checkbox"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
③支出先	NPO法人、市民活動団体 等			<input type="checkbox"/>	(5)個人に対する補助金・負担金
				<input type="checkbox"/>	(6)その他
④国・県の負担	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	市内で活動する団体が地域課題の解決や地域の活性化のために 行う公益事業			に対して
	手段	事業に要した費用の一部補助			を行うことで
	受益者	市民			が(を)
	意図	自ら考え自ら実践する住民主体の地域づくりが促進する			という状態にする
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成 21 年度	
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	<input type="checkbox"/>	補助率を定めている→補助率	2/3, 10/10
	3,485	1,258	2,040	4,000	<input type="checkbox"/>	単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/>	定額補助	その他 ()
②過去における見直し状況	平成25年4月から助成金の種類及び補助対象経費を変更 令和4年2月から助成金の上限額及び申請上限を一部変更						
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		%	<input type="checkbox"/>	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適切か	適当
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助率は適正か	適正
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助を休止・廃止した場合の影響は	地域課題を解決しようとする市民活動の停止

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/>	1現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2補助内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4統合を検討	<input type="checkbox"/>	5終期を設定	<input type="checkbox"/>	6休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)	より多くの市民活動団体等が本助成金を利用できるよう制度を周知する必要がある。 本助成金を活用して、地域課題を解決するための市民活動を増やしていく。					

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	市民協働課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	103480
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市ソーシャルビジネス支援助成金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市ソーシャルビジネス支援助成金交付規則	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先					法人、任意団体、個人事業主	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
							(5)個人に対する補助金・負担金
							(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	地域の社会的課題の解決及び地域の活性化を図る事業				に対して	
	手段	事業に要した費用の一部補助				を行うことで	
	受益者	市民				が(を)	
	意図	豊かに生活できる地域づくりが促進する				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成 29 年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課		○ 主に支出先団体	その他 ()			
⑧構成員の負担	負担なし		○ 負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	○ 補助率を定めている→補助率	1/2
	0	0	0	1,400	単価を定めている→算式	
						定額補助
②過去における見直し状況	令和4年度2月から助成金の上限額を変更					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		%	○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助率は適正か	適正
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助を休止・廃止した場合の影響は	地域の社会的課題の解決及び地域の活性化を図る事業の停滞

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)	ソーシャルビジネスの認知度が低いため、市民活動センターやセキビズとの連携を強化し、関市におけるソーシャルビジネスの認知度を上昇させるとともに、対象者の発掘、広報の見直しが求められる。令和6年度は1団体の交付が決定したので、今後も認知度上昇に努めていく。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	市民協働課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	104410
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	地域づくり支援交付金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	関市地域委員会規則					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
	地域委員会					(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
						(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	地域委員会				に対して
	手段	事業に要する費用の補助				を行うことで
	受益者	地域委員会(市民)				が(を)
	意図	市民全体の地域づくり活動を推進する				という状態にする
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日				補助開始年度	平成 24 年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他 ()
⑧構成員の負担	○	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率		
	30,017	37,518	42,582	50,630	単価を定めている→算式		
					○	定額補助	その他 ()
②過去における見直し状況	令和5年度に補助金の見直しを行い、事業加算枠内に居場所づくり事業を設けました。						
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		%	○ 決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助率は適正か	適正
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助を休止・廃止した場合の影響は	住民主体の地域づくり活動が停滞する

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○	1現状のまま継続	2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
		4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)	交付対象として認められない経費があることや、今後少子高齢化がさらに進み、健康づくりや介護予防が主な活動になってくるであろうという予測の中で、事業加算枠にあるような子育て応援、女性主体、若者主体、居場所づくり、地域振興計画の策定又は見直し等の各事業について、各地域委員会に何度も説明する必要がある。			

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	市民協働課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	104410
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	地域の魅力づくり施設整備補助金		補助金の分類	<input type="checkbox"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
②支出の根拠	関市地域の魅力づくり施設整備補助金交付要綱			<input checked="" type="checkbox"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				<input checked="" type="checkbox"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
③支出先	地域委員会			<input type="checkbox"/> (5)個人に対する補助金・負担金		
				<input type="checkbox"/> (6)その他		
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	地域委員会			に対して	
	手段	地域振興計画に基づくまちづくり活動において行う地域の魅力づくりに資する施設を整備する事業に対して補助			を行うことで	
	受益者	地域			が(を)	
	意図	地域の魅力を向上させる			という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	令和 2 年度		
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	<input type="radio"/> 補助率を定めている→補助率	10/10
	2,000	1,000	1,906	3,000	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/> 定額補助	<input type="radio"/> その他(上限100万円)
②過去における見直し状況	令和2年3月11日告示、令和2年4月1日から施行。					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		%	<input type="radio"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助率は適正か	適正
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助を休止・廃止した場合の影響は	地域の魅力向上の停滞

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	地域振興計画に基づくまちづくり活動において行う地域の魅力づくりに資する施設を整備する事業であるため、交付事例を紹介するなどして、補助金の目的を理解していただけるように努める必要がある。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	市民協働課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139050、139130、139140
-----	-------	-------	-------	---------	----------------------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市新型コロナウイルス感染症対策経営安定支援補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
②支出の根拠	関市新型コロナウイルス感染症対策経営安定支援補助金交付要綱			/ (3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				/ (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
③支出先	ふれあいセンター及び生涯学習センターの指定管理者			(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	ふれあいセンター及び生涯学習センターの指定管理者			に対して	
	手段	物価の高騰で、経営の安定に支障が生じた施設の光熱費に対する			を行うことで	
	受益者	地域			が(を)	
	意図	健全に運営された公の施設を使用することができる			という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	令和 4 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○ 主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	○ 負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	12/11(対象者の収入で賄う光熱水費の額を控除)
	0	7,871	2,575	0	単価を定めている→算式	
					定額補助	その他 ()
②過去における見直し状況	令和4年度に、補助対象経費の算定に際し、電気使用量の検針日のずれ等やむを得ないケースに対応するため、当該期間を変更できるものとした(変更期間に上限あり)。					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		%	○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助率は適正か	適正
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助を休止・廃止した場合の影響は	なし(単年度事業のため)

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	単年度事業のため、休止・廃止を検討予定。ただし、物価高騰等の影響を考慮し、再度施設の経営安定に支障が生じる場合は、補助・負担内容を見直す。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	武儀事務所	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	103453
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市原木しいたけ栽培新規後継者育成支援事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	②支出の根拠			関市原木しいたけ栽培新規後継者育成支援事業補助金等交付要綱		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先			しいたけ栽培新規後継者事業対象者		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
		(5)個人に対する補助金・負担金				
		(6)その他				
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	新たに武儀地域において原木しいたけ栽培を行う者			に対して	
	手段	補助金交付			を行うことで	
	受益者	武儀地域			が(を)	
	意図	原木しいたけ栽培の後継者が増える			という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成 30 年度		
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	897	1,461	1,497	1,500	単価を定めている→算式	
					○定額補助	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		%	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助率は適正か	適正
③有効性	補助の目的は達成できているか	ほぼ達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助を休止・廃止した場合の影響は	武儀地域の原木しいたけ生産が衰退する

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	○ 2補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	原木椎茸成長サイクル(熟練者で半年から1年程度かかる)及び採算ベースに見合う原木本数が揃う年限に対し、補助金支給期間(3年間)経過後の効果確認方法及び栽培を継続しているか確認する術が無いため、要綱を精査し効果測定可能な規定追加を検討するとともに、満了後の関市椎茸振興会加入義務明記により原木購入補助金確保と事業継続確認の両方を担保するなど対応を要す。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	洞戸事務所	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	103455
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市ほらどキウイフルーツ栽培等支援事業補助金		補助金の分類	<input type="checkbox"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				<input type="checkbox"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
②支出の根拠	関市ほらどキウイフルーツ栽培等支援事業補助金交付要綱			<input checked="" type="checkbox"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				<input checked="" type="checkbox"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
③支出先	ほらどキウイフルーツの栽培出荷事業を新規で行う者又は当該事業を継続する者			<input type="checkbox"/> (5)個人に対する補助金・負担金		
				<input type="checkbox"/> (6)その他		
④国・県の負担	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	ほらどキウイフルーツの栽培出荷事業を新規で行う者又は当該事業を継続する者でめぐみの農業協同組合ほらどキウイフルーツ生産部会に所属するもの			に対して	
	手段	キウイフルーツの栽培棚の設置に係る資材、苗木購入、出荷に係る資材購入費の一部補助			を行うことで	
	受益者	洞戸地域			が(を)	
	意図	地域の特産であるほらどキウイフルーツの栽培・出荷を活性化させる			という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 10 日 ~ R 6 年 2 月 20 日		補助開始年度	令和 3 年度		
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課		<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし		<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	1件 あたり 事業費の半額 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	<input type="checkbox"/> 補助率を定めている→補助率	対象経費の1/2(限度額有)
	677	549	1,330	1,500	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/> 定額補助	<input type="checkbox"/> その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R5歳入に占める補助金の割合		%	<input type="checkbox"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適切か	適切
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している。
	支出額・補助率は適正か	適正
③有効性	補助の目的は達成できているか	一部達成できている。
	交付先の事業成果は向上しているか	事業成果がまだ出していない。
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい

キウイフルーツの栽培面積の拡大に繋がったが、果樹が出荷できるまで数年かかるため、現時点での成果の判断は難しい。

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)	新規栽培農家の確保と担い手農家の育成が求められる。		